

ICPOA / 330-M

3-476
32

陣中日誌

自昭和十七年五月一日
至昭和十七年五月二十日

野戰高射砲第卅五大隊第一中隊

第拾貳號 壹

EXAMINED AND
NOT RECORDED
FORWARDED TO

陣中日誌用紙

陸軍

五月十三日	水曜日
天候	曇勝驟雨
任務及陣地	兵站病院西南方ニ在リ工場地帯重要施設
訓練	中部兵營ヲ東京新宿西驛ノ掩護ニ任ス 至一〇九〇〇分隊教練實施教官荒木少尉
命令受領	左記命令ヲ受領ス
左記	中隊命令 五月十三日二六〇〇 スラバヤ市
一高四五日命第四十八號ニ基キ中隊職介担ヲ左記	如ク一部變更ス
左記	陸軍准尉 桑畑豊吉
免 第二小隊長	陸軍准尉 柳原藤雄

會報受領

免人事掛

命第三小隊長

但シ當分間人事掛ヲ指導スベシ

陸軍曹長 清永 勝

免 庶務掛

命人事掛

陸軍曹長 吉永 林合

命庶務掛

中隊長 山田中尉

左記會報ヲ受領ス

左記

會報

五月十三日一六〇。
スラバヤ市。

一左記通り48D參謀長ヨリ注意ス下タルニ付爾今
カレ注意ヲ再ヒ受テサル様指導相成リ度シ

左記

(一) 一般民家ニ尚立入リ物品等無断持出且亂暴ラ働々等ノ不徳儀ヲ犯ス者凡ハ甚ク遺憾ナリ殊ニ兵團食堂ノ近隣ニ此種事故頻發スル趣ナルニ付嚴ニ注意セシメ度シ

ニ字挿入

ニ目下兵站宿泊所休養中ノ朝鮮慰安婦ヲ無断運出ス者有リト注意アリタルニ付今ノ爲會報ス

三五月十一日晝間、ワキシム映電館ニ於テ黒皮紙布一ツ48D

ニ届出アリタル由ニ付調査、上明會報時迄通報アリ

内容品、ギルタ軍票一〇月一枚、ベリ軍票一弄一枚

ジヤワ紙幣一月一枚、日本銅貨一弄一枚、小形鏡一ツ

寫眞五枚、名刺六枚、御守二枚

四、明五月十四日より十日間在スラハヤ駐留部隊將兵

ノ慰問、映電會開催ナルニ付警備並ニ勤務ニ支

集結

命令受領

高四五日命
追加命令

會報受領

中部兵營並ニ東京、新宿兩驛ノ掩護ニ任ス

高四五作命第四十九號第三項ニ基キ井上小隊ハ一〇

二〇中隊主力陣地ニ集結完了ス

左記命令ヲ受領ス

左記

大隊命令

五月廿六日一六〇〇
二三八ヤ市

一陸軍少尉

大森新次

交換兵器調査ノ爲 五月十六日出發 マランニ出

張シ用済後歸隊スベシ

大隊長

王田少佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

左記會報ヲ受領ス

左記

會報

五月十六日一六〇〇
二三八ヤ市

一本十六日一四〇〇ヨリ左記ニ依リ日本慰安婦營業ヲ開始ス

左記

南慰安所	明月組	十三名
第二將校俱樂部	曙組	十名
值	段兵一時間	二圓

他ハ從前通り

ニ第二將校俱樂部ニ於テハ爾今サービス料ヲ玉代ハ半分トス

日本人 三〇分 一圓

現住民 三〇分 五〇錢

ビールハ一本四五錢ニ値上サル

ニ慰安所ニ於テ經營者ノ規定通りニ料金ヲ支拂ハサル者アリテ後違反者ハ處罰セラルニ付注意アリ

一宮町正
5月17日

種 藥

人 員

四別紙禁止區域（有毒劑・安婦隔離區域）ニ入リテ
嚴禁セルガ市内巡察ハ右區域ヲ巡察セラレ度シ
井上小隊ノ中隊主力ハ復歸セル中隊彈藥現在

數左ノ通り

高射砲光銃彈 七八三發

小銃 彈 二一九〇發

中隊長以下 一〇九名

五月十七日 曜日

天候 晴

任務及陣地

兵站病院西南方ニ在リ工場地帯市重要施設
中新兵營並東京・新宿兩驛ノ掩護ニ任ル

「以下略」